

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月16日更新

事務事業名		部活動奨励補助金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	黒田 朋宏
	施策の柱	34	体育の推進			所属班	学務指導班	(内線)	5325
予算科目	会計一般	10	1	3	事業連番	10674	根拠法令	なし	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校教育の一環として、生徒の体育面での向上や文化面での向上を図り、心身ともに健全な生徒の育成を図るため部活動に対する保護者の関心が高まっている。 また、令和元年度より小学校が社会体育へ移行したことから中学校部活動のみを補助の対象とした。ている【事業の内容】中学校の部活動の育成のため、その運営費の一部を助成する。
【業務の流れ】	申請書受付事務、補助金交付決定事務、補助金支払い事務、実績確認事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
中学校の部活動の育成のため、その運営費の一部を助成した。3中学校45部に助成を行った。	前年度同様に実施する。ただし、助成対象が合志楓の森中学校の新設により4中学校49部活動となる。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 部活動を行っている生徒数		新設校の開校に伴う補助金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
中学校生徒		→ ア: 中学校の生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
中学校生徒の個性の伸張を図り、団員としての資質を養い、健全な体や心を育成する。		→ ア: 部活動への加入率
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
部活動に加入することによって、健全な体と心の育成を図るため		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	人	2,198	3,148	3,200	1,426	3,200			
	イ									
② 対象指標	ア	人	6,678	2,038	2,110	2,200	2,130			
	イ									
③ 成果指標	ア	%	32.91	59.96	70.67	68	69.95			
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	4,187	3,178	3,300	3,204	3,420		
		(A) 事業費計	千円	4,187	3,178	3,300	3,204	3,420		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	2	3	2	1	2		
延べ業務時間	時間	150	25	28	5	28				
(B) 人件費計	千円	591	99	111	19	111				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,778	3,277	3,411	3,223	3,531				

事務事業名	部活動奨励補助金事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 すべての部活動に補助をし、円滑な運営ができた。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 部活動数、部員数に応じすべての部活動に補助をする。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状で目的は達成しているので、成果の向上余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 部活動及び部員数に応じた助成であり、事業費の削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない。委託するような事務料ではない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人が利益を得ることはない受益者負担はない
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

児童生徒の体力面や文化面での向上が見られた。また、各種大会での成績も良かった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					